

はるか 悠

多気町郷土資料館だより

2026.7.1

116



た き



写真2 聖観音立像 歓喜寺蔵



写真1 右：十一面観音菩薩立像(小)
左：十一面観音菩薩立像(大)
三疋田区蔵 所在地：靈山寺



写真3 木造十一面観音立像 珊瑚寺蔵



写真4 珊瑚寺山門 珊瑚寺蔵

ししんの里 多気
文化財 〽〽〽

※前号に引き続き、多気町の文化財をご紹介します。次の頁でそれぞれの文化財について説明しています。

多気郷土資料館 資料保存の課題

多気郷土資料館では、開館以来、三十年以上、収蔵品目録の作成が継続して行われてきましたが、全資料を網羅するには至っておりません。旧佐奈村役場文書についてはボランティアのご協力により昨年度までに七千二百点が終了しました。しかし、約四万点とされる資料の整理にはまだ時間がかかる見込みです。

資料を受け入れる限り、整理作業は決して終わることがありません。最近では収蔵対象を紙資料を中心とする方針に改め、道具類の寄贈をお断りしていますが、有難いことに紙資料は増え続け、未整理のままで生かさない状況を申し訳なく思います。収蔵庫には出土品をはじめ、これまでいただいた膨大な農具や道具、文書類が山積。展示休催期間に整理を進めましたが、適切な保存環境の実



写真1

現には遠い道のりです。

紙資料については、整理が終わった文書から資料の変色や劣化を防ぐ効果のある中性紙製文書箱に入れ替えて、新たに設置した可動式文書棚（写真1）に収めています。

農具に関しては重複するものや展示室での展示が難しい大型の道具が数多くあります。また、壊れやすい材質の道具、積み重ねできない道具等、棚



写真2

に収まらない資料を床に置かざるを得ません。（写真2）

このように増え続ける資料、不足する収蔵庫は全国の博物館で大きな問題となっており、今年3月末に文部科学省が改正した「博物館の設置および運営上の望ましい基準」では「他の手段を検討し、やむを得ないと認められるときに慎重に行う」という条件付きで「廃棄」も選択肢の一つに加えられました。

今後、当館収蔵品の保存・管理について慎重に検討していく必要があります。

多気郷土資料館歴史文化講演会のお知らせ

事前申込
参加無料

演題 東北の多気商人
講師 金児絰征 氏（秋田大学名誉教授）
日時 令和8年8月22日（土）
午後1時30分～午後3時
場所 多気郡教育会館2階 第1研修室
（多気郷土資料館の上）

内容 相可を中心とした多気商人は射和商人と一緒に羽国（山形県と秋田県）に多く進出した。特に山形県の鶴岡、秋田県の横手への進出が著しかった。どのような人々がどのような活躍をしたかその足跡を辿る。

募集定員 100名（先着順）
受付期間 令和8年7月17日（金）～8月16日（日）
主催・問い合わせ 多気郷土資料館
共催 多気町郷土史研究会

申込方法

次の①～③のいずれかでお申し込みください。

① WEB

多気町HPに掲載の申込フォームにご入力ください。下のQRコードからも申込できます。

② 電話

多気郷土資料館（問い合わせ先：0598-38-1132）までお電話ください。

③ 窓口

多気郷土資料館にある申込書（多気町HPからダウンロード可）を同館にご提出ください。



講演会申込フォーム



講演会参加者募集HP

三三展示（企画展と同時開催） 殊法没後三五〇年記念
辰砂 ― 三井殊法を生んだ丹生の特産品 ―

令和8年7月17日（金）～9月20日（日）
丹生の豪商永井家に生まれた三井高利の母、殊法。永井家を有力な商人に成長させた丹生の特産品「辰砂」を展示します。

「ちょっとひとこと」欄へのご投稿をお待ちしています。郷土資料館についてのご意見、郷土の歴史に関すること、昔の暮らしの思い出などなんでも結構です。400字詰め原稿用紙1枚程度でお願いします。